



平成 27 年 1 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社 SmartEbook.com  
代 表 者 名 代表取締役 假屋 勝  
(JASDAQ・コード 2330)  
問 合 せ 先 取締役管理本部長 飯田 潔  
電 話 03-6262-1056

### 新たな事業の開始及び子会社設立に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 1 月 9 日開催の取締役会において、以下のとおり、新たな事業の開始及び子会社の設立について決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 事業開始の趣旨

##### ①投資銀行部の新設による投資銀行業務の開始

当社グループは、主力事業である電子書籍事業（コンテンツ事業）において、安定的かつ持続可能な業容拡大を図るため、不採算となっていた海外事業の完全撤退、国内事業の合理化と集中、それに伴う各種リストラクチャリングを実施してまいりました。また、今後の企業価値向上を目指し、持株会社と事業会社を分離することにより、新規事業の開始及びM&Aによる事業拡張を円滑かつ効率的に行えるよう企業再編も実施し、M&Aを活用した業容の拡大という当社の経営戦略を積極的に推進できる体制を整えて参りました。

当社グループの電子書籍事業（コンテンツ事業）を取り巻く環境としては、2014 年度の市場規模は前年度比 23.5%増の 1,050 億円の見込み、2017 年度には 1,910 億円と拡大基調を予測されています。（矢野経済研究所「2014 年版 電子書籍市場の展望と戦略」より抜粋）今後の成長が期待できる反面、競合他社が乱立し競争が激化しておりM&Aが積極的に行われるなど各社生き残りをかけ、活発な事業展開を進めております。

このような状況を踏まえ、当社グループにおいても資本・業務提携等を含むM&Aによる電子書籍事業の業容の拡大及び新規事業の展開は必須であると判断いたしました。

従来から当社グループがM&A案件等の検討を続けた結果、コンサルティング会社をはじめとした幅広い人脈を通じ多くの案件情報が、当社に集まる状況となっております。

また、2015 年 1 月に本店を福岡から東京へ移転したことにより、さらに案件情報の収集が容易となったため、当社グループの経営戦略の積極的な推進を目的として、経営戦略本部に投資銀行

部を新設することといたしました。

当該事業部に集約される案件情報を精査のうえ、当社グループの既存事業とシナジーが見込まれる案件については、当社グループが主体となるM&A案件として、その他の案件については、他社への紹介等を行う又は純投資対象とすることとし、M&Aのアドバイザー業務又は純投資によるキャピタルゲイン等の収益確保を目指す投資銀行業務を投資銀行部において開始することといたしました。

## ②新設子会社におけるクレジットカード決済代行業務の開始

当社子会社の株式会社フォーサイドブックにおける電子書籍事業においては、同社サイト(Mobi-book store)に会員登録のうえ、電子書籍購読のため各会員がポイントを購入することとなっておりますが、そのポイント購入代金の決済方法についてはキャリア課金(会員が各通信キャリアの通信料と共にポイント購入代金を各通信キャリアへ支払う仕組み)が中心となっております。

これまでの電子書籍事業については、市場全体の傾向として一冊の単価が安いコミックが中心であり、同社サイト会員の利用単価も500円～1,000円程度にとどまっておりましたが、昨年度の電子書籍市場においては、一冊当たりの単価の高い専門書の電子書籍化が進んでいることを背景として、高額な価格帯の電子書籍が増加傾向にあり、今後については、電子書籍利用者の利用単価の上昇が見込まれております。

当社グループでは、主力事業である電子書籍事業の業容の拡大のため同社サイト会員に幅広いサービスを提供していくことが不可欠と考えており、専門書を含む幅広い電子書籍の提供はもちろんのこと、ポイント購入代金の決済方法についても従来のキャリア課金のみならず、クレジットカード決済によるポイント購入代金決済サービスも提供することで、会員の利便性の向上につながり、また、幅広い電子書籍の提供と共に同サービスを提供することにより、電子書籍単価の上昇傾向にある市場動向を捉え、利用単価の高額な会員及びより幅広い層の会員獲得につながり、かつ、同サービスを内製化することにより、コストダウンにも貢献するものと判断し、当該事業を開始することといたしました。

更には、決済代行業務を開始することにより、同社サイト内での決済にとどまらず、他社サイトにおける決済代行及びリアル店舗における各種決済代行を行うことにより、電子書籍事業以外での収益確保が期待できるものと考えております。

## 2. 新たな事業の概要

### (1) 新たな事業の内容

#### ①投資銀行事業

投資銀行部に集約されたM&A案件のうち、当社グループの既存事業とシナジーが見込まれない等の理由により、当社グループにおいて取り組まなかった案件について、他社へのM&A案件としての紹介及び仲介、また、純投資対象として投資を実施し、M&Aアドバイザー報酬及び純投資によるキャピタルゲインを収益とする事業となります。

## ②クレジットカード決済代行業業

当社グループが行う電子書籍事業におけるポイント購入代金のクレジットカード決済代行サービスの提供及び他社サイト及びリアル店舗における各種決済代行を行い、その決済代行手数料を収益とする事業となります。

## (2) 当該事業を担当する部門等

### ①投資銀行事業

新たに新設する投資銀行部において担当いたします。入手したM&A案件について、当社グループの既存事業とのシナジー効果についての測定を行うため、持株会社である当社の部門として行います。

### ②クレジットカード決済代行業業

当社100%出資の子会社（資本金30百万円）を設立し、当該子会社において行う予定です。現時点において独立した事業であるため新設子会社で行います。

※設立する子会社の概要については、詳細等が確定次第速やかにお知らせいたします。

## (3) 当該事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

### ①投資銀行事業

現在のところ未定ですが、具体的な案件が見つかり金額が確定次第お知らせいたします。

### ②クレジットカード決済代行業業

子会社設立費用、HP作成費用、決済代行システム開発費用等約25百万円を勘案し、子会社設立時の資本金として30百万円を計画しております。

## 3. 日 程

(1) 取締役会決議日	平成27年1月9日
(2) 事業開始期日	① 投資銀行事業 平成27年1月15日(予定) ② クレジットカード決済代行業業 平成27年1月(予定) ※平成27年1月中旬に子会社設立予定であり、設立と同日に事業を開始いたします。

## 4. 今後の見通し

本新規事業開始による平成27年12月期業績(連結)に与える影響につきましては現在精査中であり、詳細等が判明次第速やかにお知らせいたします。

以上